

# 東京上空

## 騒音

## 落下物

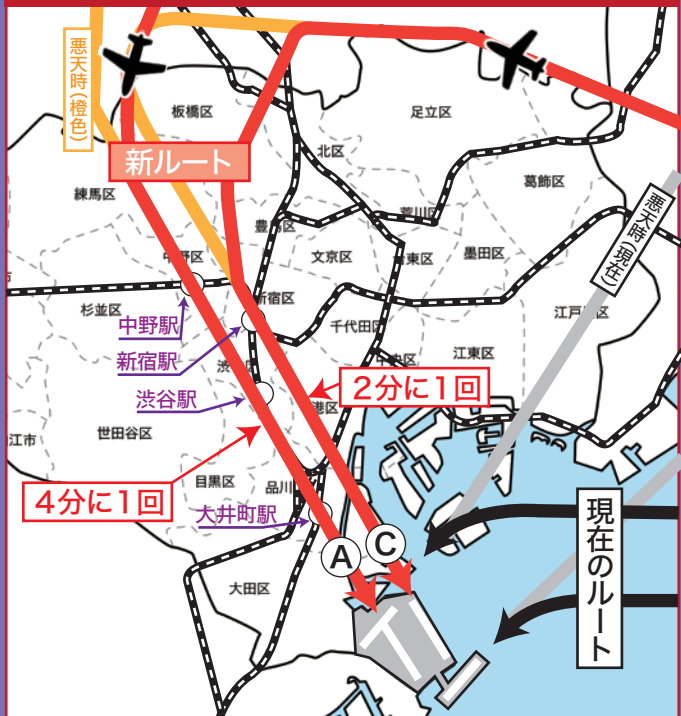
## 資産価値低下

### 羽田 新ルート

# 超低空飛行

## 撤回を

### これが新着陸ルート



南風時(運用は15時～19時)

国は、来年3月末から羽田空港の離着陸のルートを変えようとしています。新ルートは、都心や人口密集地を超低空で飛ぶもので影響は甚大です。

### 「掃除機・地下鉄車内なみ」の騒音 2分に1回(ラッシュ時の山手線以上)

国の説明は、新宿付近で63～70デシベル、大井町付近で76～80デシベル、江戸川区清新町付近で64～77デシベル。80デシベルとは掃除機や地下鉄の車内、70デシベルとは主要幹線道路の騒音とされています。これが、2～4分に1回やってくれば、心身に与える被害・影響は重大です。

### 年447件の部品が欠落

大阪でパネルが落下し乗用車に衝突。成田では氷の塊も

飛行機の部品欠落は日本で年間447件、毎日1件以上発生しています。とくに離着陸時は車輪の出し入れなど落下物が発生する要因が多く、「4キロのパネルが落下し走行中の乗用車に衝突(関西空港)」、「エンジン部品が飛散し、車両や建物が損傷(熊本空港)」など重大な事故が起きています。成田空港では過去10年で20件の落下物が確認され、うち5件は氷の塊でした。

### 実際には 数倍の騒音も

現在ルート下となっている江戸川区では、今回、国が説明する想定値の、6倍もの騒音が実測されています。「掃除機や地下鉄の車内」どころか「パチンコ店内」にもなる危険があるのです。

### 新離陸ルートも 大問題



北風時(運用は7時～11時半、15時～19時)

### ルート下・近辺

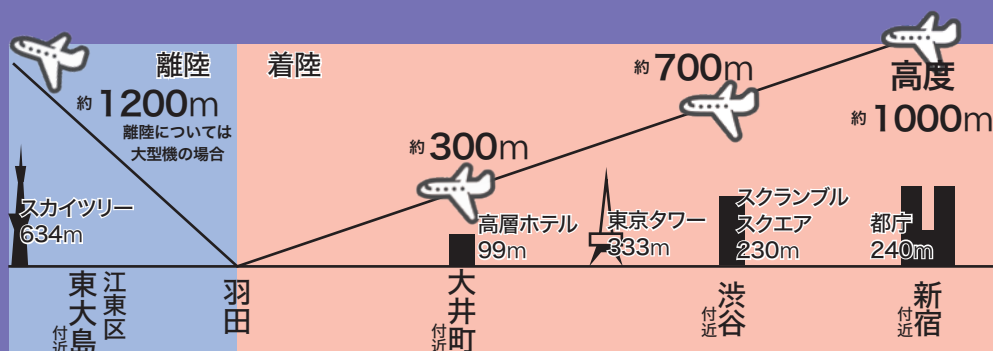
### 人口は270万人 超高層ビルは428棟

騒音や落下物はルート直下の地域だけの問題ではありません。大阪の落下物事故では、ルートから3キロ以上離れた場所に落ちました。新ルートの下及び近辺※に住む都民は、国の説明図をもとに控えめに推計しても約270万人。23区の人口の3割に及びます。建っている超高層建築物(60m以上)は428棟。都内の超高層建築物の3分の1です。新宿や渋谷をはじめ国内有数のオフィス街・繁華街もあります。

※ルートの左右両側、それぞれ約1500m以内の地域

## 世界ではありえない

航空評論家で航空機の安全対策立案にも携わった杉江弘さん(元日本航空＝JAL＝機長)は「しんぶん赤旗」のインタビュー(8月31日掲載)で「世界の大空港は環境と安全を守るため、郊外に建設するのが主流です。例えばフランスのシャルル・ド・ゴール空港は、パリ市街から50分ぐらい離れています。イタリアのミラノ・マルペンサ空港も郊外にあります。台湾の桃園空港も台北市街から1時間以上かかります」、「世界の大空港で都心上空を飛行しなくなったのは、不測の墜落事故や落下物事故が起これば、人や建物が深刻な被害を受ける危険性が高いからです」と語っています。



東京  
民報

ご連絡・ご要望は03-5972-1621、FAX 03-5972-1590  
2019年10・11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介しします。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日第三種郵便認可

## 日本共産党

問題はもっとあります  
ウラ面をご覧ください→



# 国や都の おかしい。2つの約束違反

## 1、「海から入り海に出る」に逆行

羽田空港に離着陸する飛行機の騒音は、昔から都民を悩ませていました。その防止のため国と地元自治体が協議し、陸上ルートから東京湾上空を飛ぶルートへ、切り替えてきたのがこの間の歴史。新ルートは歴史の逆行です。



## 2、「地元の理解」の約束投げ捨て

国と東京都は地元の理解を得て新ルートを決めるとくりかえし約束。安倍首相も「地元の理解を得て実現」(2018年1月の施政方針演説)と述べ、国交相も「『地元』に地方議会も含まれる」(19年4月12日、衆院国交委員会)と答弁してきました。しかし品川や渋谷の区議会では「ルートの再考を強く求める」、「計画の見直し等を強く求める」決議があがっています。強行は約束違反です。

## 不安の声がやみません。

### あのひどい騒音。半世紀もたってまた押し付けるの!?

——ルートを海上に移した「約束」を守って

私が子どもの頃(1960年代)飛行機の騒音がものすごく、通過時は会話もできず、テレビの音も聞こえませんでした。勉強にも支障が出たと記憶しています。当時の大人の人が声をあげて、ルートが海上に移り静かになった時には本当にホッとしました。ところが、その時の約束をやぶって、またあの騒音を、孫たちの世代に押し付けるなんてとんでもありません。(品川区在住 松浦 肇子さん)

### 小池知事が新ルート容認。「都民」が「ファースト」は、どこにいった!?

私が住む区の議会が全会一致で「見直し」を決議したのに、それを無視して、国の言いなりで新ルートを「理解」したと容認する小池知事にはがっかりです。国や自民党と闘うという看板、「都民」が「ファースト」の看板、どこにいったのですか。(渋谷区在住 サマルカンド国立外国語大学名誉教授 胡口 靖夫さん)

### 騒音、落下物、資産価値低下ゼツタイ認められません

——この街に誇りを持って住んでいるのに

歴史と伝統のあるこの街…。誇りを持って住んできました。それなのに突然のように、着陸ルートになるなんて。しかも東京タワーよりちょっと高めの所を飛ぶ、こんな話は認められません。ご近所の方も「国が勝手に資産価値を下げるようなことをしていいのか」と憤っています。ゼツタイに反対です。(港区在住 杉下 共幸さん)

### 今でも、飛行機の騒音に苦しんでいるのに…

——着陸に加え、今度は離陸ルート!!

今でも、南風悪天候時に私の街の上空を羽田に着陸する飛行機が飛び、その騒音に悩まされています。自費で二重窓にした方もいます。これに北風時離陸機が加われば、ほとんど毎日、騒音や落下物、事故の危険性にさらされることになります。こんなことは許せません。(江戸川区在住 太田 美音さん)

国や都は、「経済成長」「競争力」などを理由にしますが…

命・健康を犠牲にした「経済成長」は本末転倒です

五輪も理由にしますが  
五輪後も続く  
計画です

## 共産党はがんばります。



国会で追及する  
山添拓参院議員(3月20日)

### 国会で

山添拓参院議員(東京選挙区選出)は、ルート変更の際は周辺自治体と「協議する」としていた合意も守らず、新ルートの解禁は許されないと国土交通大臣を厳しく追及しました。

### 都議会で

共産党都議団は、国が騒音レベルを過少に見積もって説明していることを、実際に計測された値から告発し、国の説明のいい加減さを明らかにしました。また、騒音による健康被害について、専門家の研究も示し、これでは都民の健康は守れないと小池知事に迫りました。

みなさんのご意見・ご要望をぜひ聞かせてください

メールでも  
お願いします→

